

## 「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

## ＜本年度の学力向上基本方針＞

- 仲間とともに主体的に学ぶ態度の育成 (Grit)
- 「できた。わかった。もっと学習したい」という授業の実践 (Grit)
- 家庭学習の充実 (Growth)
- 小中9年間を見通した指導の工夫 (Growth)
- グローバル・スタディ科の学習の充実 (Global)
- 多様性を受け入れ、互いを大切にする心情の育成 (Global)

## ＜本年度の学力向上策等＞

- 1 子どもたちが主体的に学ぶ授業づくり (Grit)
  - ・「よい授業」集計システムを活用し、各教科の指導を振り返り、授業改善を行う。
  - ・子どもたちが主体的、協働的に学ぶことのできる授業展開を工夫する。
- 2 個に応じた指導の充実 (Grit)
  - ・ユニバーサル・デザインの視点に基づいた授業づくりを行う。
  - ・算数科において、少人数指導の充実を図る。
  - ・一人ひとりの子どもに目を向け、児童理解に努める。
- 3 家庭と連携した学習環境の整備 (Growth)
  - ・「すくすくのびのび子どもの生活習慣向上」キャンペーンを活用し、家庭での学びを充実させる。
- 4 9年間を見通したカリキュラムの実施 (Growth)
  - ・第6学年での三室中学校の教員とのT.Tにより、中学校への接続を意識した指導を行う。
  - ・合同研修会や授業参観を通して連携を図り、一貫性のある指導を行う。
- 5 「グローバル・スタディ」科の学習の充実 (Global)
  - ・G・S専科、ALTによる専門的な指導を充実させる。
- 6 学習の基盤となる、学級内のあたたかな人間関係の形成 (Global)
  - ・「考え、議論する道徳」の実践を通して、道徳的実践力を養う。
  - ・学級活動(1)の充実を図り、多様性を受け入れ、他者と協働する力を育てる。
  - ・授業公開日に、全学級で「道徳」「学級活動」の授業を公開する。

## ＜本年度の振り返り＞

- 1 「よい授業」集計システムを活用することで、教職員が積極的に授業改善に取り組むことができ、学校評価児童アンケートの「授業は分かりやすいですか」の質問に対して「できている」と回答した児童の割合が、前年度より7ポイント上昇した。次年度はさらに、主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、指導の工夫を図っていく。
- 2 G・S専科、ALTによる指導を充実させたことで、子どもたちが生き生きと学習に取り組み、主体的に外国語を用いたコミュニケーションを図ることができた。また、木曜6校時に、全学級で探究・習熟の時間を位置付けたことで、じっくりと学習に取り組むことができた。
- 3 市調査の結果から、算数科の「量と測定」領域において課題が見られた。次年度は、個に応じた指導を引き続き充実させるとともに、家庭と学校とで連携し、子どもたちを認め、励ましながら、「真の学力」を育成していく。
- 4 学校全体で道徳教育の研修に取り組み、各学級で「考え、議論する」道徳の授業を通して、子どもたちが物事を多面的・多角的に考えることができた。